

# 日本ホテル・レストランコンサルタント協会 5月例会のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は JHRCA の運営に深いご理解と多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。2026 年度 5 月の例会は、明海大学ホスピタリティツーリズム学部特任教授の大屋了三氏をお迎えします。大屋氏は全日空ホテルグループ売却後、分社化し、全日空ホテルとインターコンチネンタルホテルズのジョイントブランドを立ち上げた当事者としてリーダーシップを発揮されて来られた。今回は「ANA ホテルチェーンの消滅と再生の軌跡」と題し、現場での実体験を踏まえて IHGANA ホテルズグループの誕生の秘話をお話して頂きます。会員並びにビジター皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。敬具

記

日時 : 2026年5月12日 (第2火曜日) 18:30 開始  
場所 : 国際文化会館  
東京都港区六本木 5-11-16  
TEL : 03-3470-4611(代表) <http://www.i-house.or.jp/>

講演 : 「ANA ホテルチェーンの消滅と再生の軌跡」

2007 年 4 月 13 日、日経新聞の一面に「全日本空輸約 2,823 億円でホテル資産をモルガンスタンレー系のファンドに売却」というニュースが発表され、当時としては最大級の不動産取引であった。この発表に先立つ 3 か月ほど前、ANA と英国に本拠を置くインターコンチネンタルホテルズグループ(IHG)の合併会社が設立され、大屋氏はこの事案の真ただ中におり、新たな体制のスタートに向けて日々奔走していた。今回はこの大きな変革の必然性およびその後の軌跡を当事者としてお話し頂きます。

講師 : 明海大学ホスピタリティツーリズム学部特任教授

大屋 了三 (おおや りょうぞう) 氏

ご経歴 : 1953 年 東京生まれ  
1976 年 早稲田大学政治経済学部 経済学科卒。同年全日空エンタプライズ株式会社入社  
2004 年 東京全日空ホテル(現 ANA インターコンチネンタルホテル東京)総支配人  
2006 年 IHGANA ホテルズグループ合同会社最高執行責任者就任  
2011 年 スターツグループ入社、スターツホテル開発代表取締役社長就任  
2022 年 スターツ退社、明海大学ホスピタリティツーリズム学部特任教授

会費 : 会員 ¥3,000 ビジター ¥6,000(食事、飲み物付)

※初めてご参加のビジターの方は会費をセミナー開催 5 日前迄に弊協会の下記口座にお振込み下さいませ。会費入金日をもちまして正式申し込み日とさせていただきます。

振込先 : 三菱 UFJ 銀行 鎌倉支店 普通預金 店番 : 255 口座番号 : 1939994  
口座名 : ニホンホテルレストランコンサルタントキョウカイ

返信期日 : 5月02日 (土曜日)

返信先 : 下記事務局へ e-mail にてお願いいたします。

ビジターご参加の場合は、ご氏名、ご所属先、お役職の明記をお願い致します。

日本ホテル・レストランコンサルタント協会 会長 小原 康裕  
事務局長 井部 修 e-mail : [east\\_jhrca@nifty.com](mailto:east_jhrca@nifty.com)